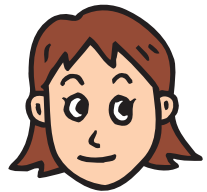




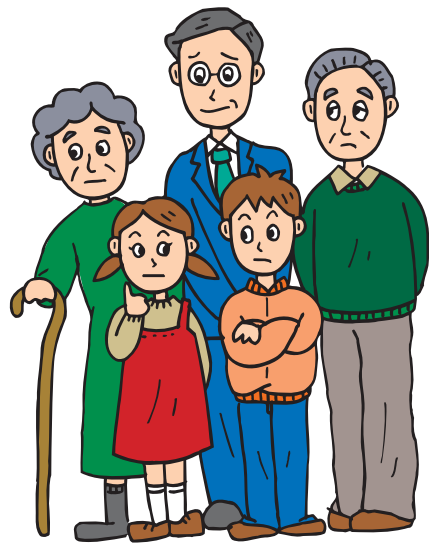
**合併しなければ
良かったのでは？**



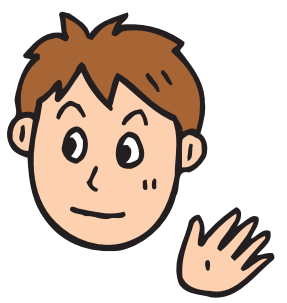
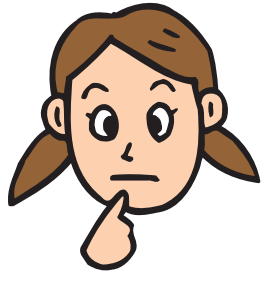
今回合併した市や町は、いずれも以前から同じような財政的な悩みがありました。合併しないままではなかなか行財政改革は進みませんでした。合併することによって、特に市役所の内部経費などで合理化できる幅が大きくなりました。



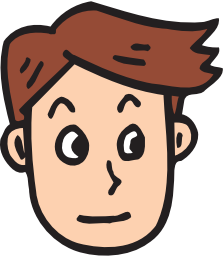
合理化をすることによって浮いたお金（実際にはなかなか浮くまでには及ばないかもしれませんが）を市民サービスに使うことができるところですから、合併したこと自体が悪いということはありません。



**これから
どうするの？**



すぐにできることと、時間をかけないとできないことがあります。とにかく、お金の集め方とお金の使い方の両方を見直さなければなりません。まず、「財政改革プラン」の素案をまとめ、お示しした上で、ご意見を伺いたいと思います。



財政改革プラン(案)

1 市役所自らが努力して
節約します。

合併によってひとつの会社になりましたので、一口も早く効率的な体制をとることによって、職員の数をとくさん減らします。しかし、職員の数はすぐには減らせませんので、当分は、市長等の給与をカットすることによって人件費を減らします。さらに、市役所の職員一人ひとりが効率よく仕事をするにより、残業代や光熱水費などを減らします。

また、合併したことによって、同じような公共施設があちこちにいくつもありますので、ひとつの市として効率的な配置となるように見直し、計画的に統廃合を進めていきます。

